情報提供日	平成２８年（２０１６年）３月２２日（火）
問い合わせ先	広島市植物公園 栽培・展示課　久保、内田 管理課　泉川、木原 TEL 082-922-3600

沖縄で花見といえばこの種類です

カンヒザクラが開花

広島市植物公園では、展示資料館横のウメ園の左側にあるカンヒザクラ（寒緋桜）（樹高約4m）が見ごろになりました。奥のカンザクラ（寒桜）（樹高約 8m）ともども、３月いっぱい見ごろが続くと思われます。

※ヒカンザクラ（緋寒桜）という呼び方もありますが、ヒガンザクラ（彼岸桜）と紛らわしいので、当園ではカンヒザクラ（寒緋桜）という名称で呼んでいます。

下向きの花が特徴的なカンヒザクラ

カンザクラはカンヒザクラの血を引く園芸品種

カンヒザクラ（手前の濃桃色花）とカンザクラ（奥の淡桃色花）

2016年３月15日撮影

カンヒザクラ（*Cerasus campanulata*）について

カンヒザクラは中国南部から台湾にかけて自生するサクラの一種で、沖縄では植栽されているほか、自生状態のものも見られます。沖縄ではソメイヨシノではなく、カンヒザクラにたいしてサクラの開花予想及び開花宣言が発表されています。学名にある campanulata とは、‘ホタルブクロの仲間のような’という意味で、下向きに咲くのが特徴です。園芸品種の交配親としても重要で、寒桜や河津桜など、早咲きの品種の親としても知られています。

開園時間　午前９時から午後４時半まで（ただし、入園は午後４時まで）
入　園　料　大人５１０円、６５歳以上・高校生１７０円、中学生以下無料
休　園　日　毎週金曜日